

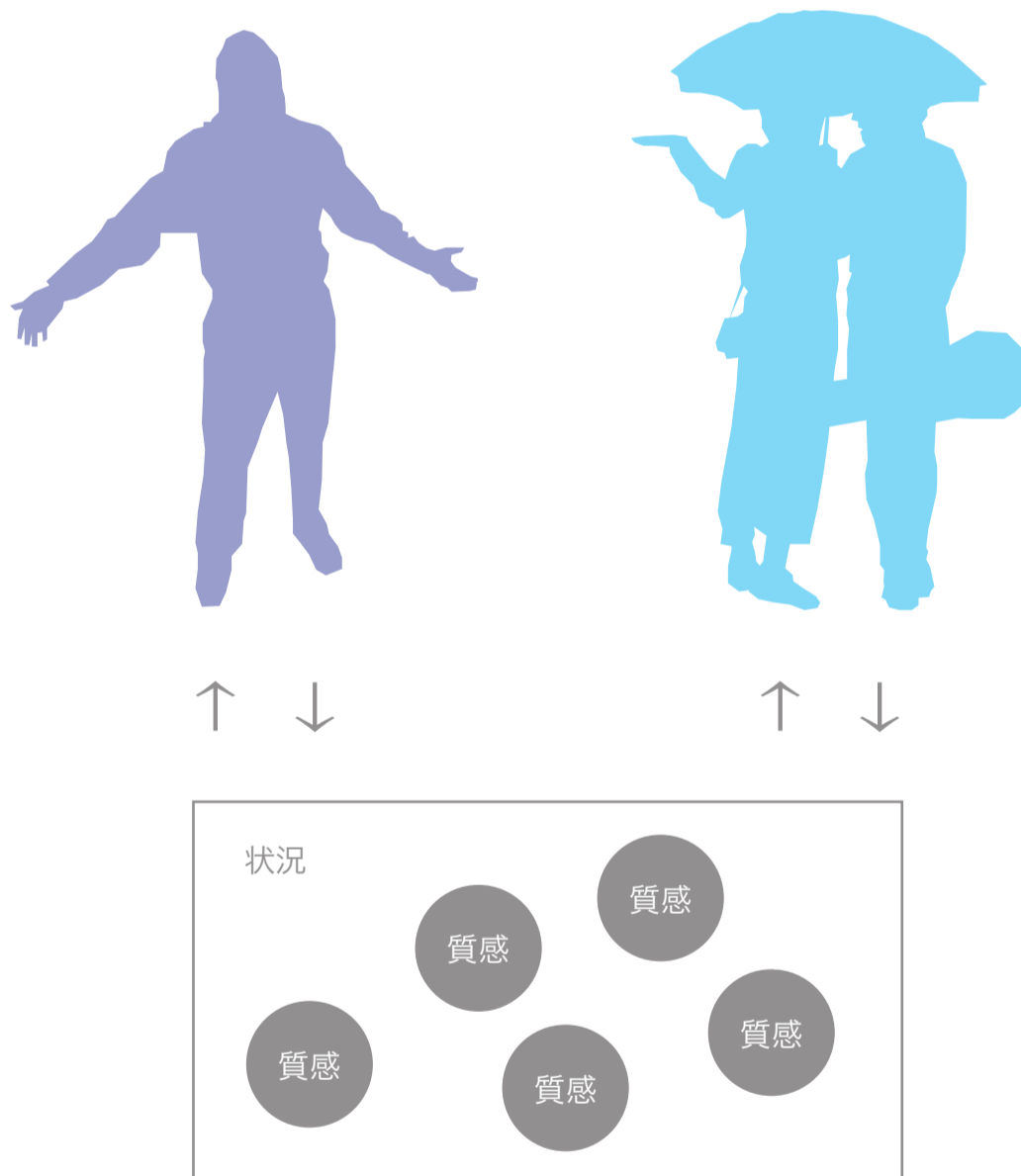
ambient air texture

気象情報の可視化

作品の概要

風を受け止めようとして両手を一杯に広げる。
 頭上に手を伸ばし雨粒を受ける。
 景色が映り込んだ水溜りを勢いよく踏みつける。
 雪と地面との接触音を聞こうとして耳を澄ます。

そこには天気の状態が存在しています。
 その一つ一つを確かめようとして、慎重にアクションを起こす。
 レスポンスを確かめる。
 その繰り返しには、呼吸をすることを忘れるくらいに意識が緊張する一瞬が潜んでいます。



このアプリケーションは、今日の天気の状態をNewsとして届けます。
 アプリケーションが置かれる地域の5時間から8時間先の将来の天気の状態を抽出しオノマトペと動きによって可視化します。
 可視化する対象の情報は、朝方から夕方であれば今日の天気、夕方以降には明日の天気となります。
 これは、夕方という時間帯が一日における意識の一つの転換点である為です。